

令和5年度 三島市の 予算

問財政課 ☎ 983・2622

令和5年度予算案が市議会2月定例会で可決されました。一般会計予算は424億8,000万円で前年度対比8.4%（32.8億円）増となりました。

コロナを乗り越え未来に向け飛躍する ウェルビーイング^{※1}推進予算

令和5年度 三島市 施政方針



市議会2月定例会（2月14日）で、豊岡市長が述べた令和5年度施政方針について概要を掲載します。

令和5年度の予算を編成するにあたり、社会経済情勢を見ますと、

新型コロナウイルスは、変異を繰り返しながら、未だ世界中で猛威を振るっており、日本も第8波のさなかであります。

しかしながら、昨年は日本中に多くの感動を与えてくれたサッカーワールドカップが延期することなく開催され、また、3月には6年ぶりにワールドベースボールクラシックが開催予定であるなど、オリンピックが延期されたことと比べますと国際社会全体が落ち着きを取り戻してきているように感じられます。

国内におきましても感染が確認されてから3年が経過し、感染症法上の位置づけを「5類」に移行する方針が固まるなど、経済活動を止めることなく「withコロナ」として徐々に折り合いがつけられつつありますが、未だ予断を許さ

ない状況は続いておりますので、三島市といたしましても、しっかりと対策を継続し、市民の皆様への安全・安心の確保に努めてまいります。

また、資源価格の高騰や円安の影響による物価の高騰のように、世界の動向がタイムラグなしで影響する現代においては、さまざまな場面において、的確な判断と素早い決断、そして確実にやり遂げる実行力が更に肝要と存じます。

このような激動する時代において、5年、10年先を見据え、市民生活をしっかりと支えるとともに市勢発展を図るため、行政課題への迅速かつ的確な対応と、重点施策を着実に推進できるよう副市長二人制を導入してまいります。

とりわけ、三島駅南口東街区再開発による魅力と活力の向上、大場地区の土地区画整理事業の推進、さらなる企業誘致と新たな工

業用地の確保、行政や中小企業の「デジタル・トランスフォーメーション^{※2}」の推進による「デジタル田園都市^{※3}」の実現などに向かつて、スピード感をもって挑戦し続けることが、本市の持続的な発展に結ばれていくものと確信しております。

全ての施策は、市民の皆様への精神的、身体的、社会的に良好な状態である「ウェルビーイング」の実現という目標を達成して行くためのものであり、誰もが幸せを実感し「三島で生まれてよかった、育ってよかった、暮らしてよかった」と思っていたくために、今何が必要とされているのか、子どもたちの未来のために今何をすべきかを真剣に考え、編成いたしましたこの予算を、私は「コロナを乗り越え未来に向け飛躍するウェルビーイング推進予算」と考えております。



三島市長 豊岡 武士

- ※1 ウェルビーイング：満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを表す言葉
- ※2 デジタル・トランスフォーメーション：デジタル技術が浸透することで、社会や生活があらゆる面でもより良い方向に変化していくこと
- ※3 デジタル田園都市：デジタルの力により、地方の個性を生かしながら、社会課題の解決と魅力の向上を図る都市のこと

第5次総合計画 基本目標

1 「安全・安心に暮らせるまち」

①消防団運営事業…2,875万円

消防団が持続的に機能するための環境整備として、活動支援アプリを導入し、出動指令や災害時の情報共有をデジタル化することで活動の効率化、活性化を図ります。



②都市下水路整備事業…6,000万円

市街地の浸水を防ぐため、大雨の際、都市下水路に流れ込む雨水を大場川に強制排除する竹ノ下ポンプ場の第4号ポン



プ改築工事を実施します。

③防災訓練事業…1,280万円

災害発生時に迅速かつ的確に被害状況を把握するため、SNSに投稿される情報を自動で収集・解析するシステムを導入します。

④自転車乗車用ヘルメット購入費補助金…200万円

自転車利用時のヘルメット着用の努力義務化に合わせ、事故時の被害軽減につながる着用を促進すべく、ヘルメットの購入費用を支援します。

⑤処理施設整備事業…1億1,227万円

新規最終処分場の整備に向け、希少野生動植物調査や用地買収などを進めます。

第5次総合計画 基本目標

2 「健康で福祉が充実したまち」

①健康とスポーツ推進事業…286万円

自転車を活用したスポーツ人口の増加や、運動実施率の低い若い世代を中心とした女性へのスポーツ習慣化を推進します。



②出産・子育て応援事業…7,165万円

妊娠時の面談や出産後の全戸訪問を実施するほか、妊娠届出時の面談後に妊婦1人につき5万円、出産後の家庭訪問後に対象乳児1人につき5万円を支給します。



③市営長伏グラウンド整備事業…2,200万円

長伏グラウンドAの照明設備やグラウンドの改修などに向けた実施設計を行います。



④放課後児童クラブ管理運営事業…2億1,117万円

指定管理者制度を導入し、民間事業者による運営に移行することで平日の開所時間の延長や、土曜日開所の日数増加など、利用者サービスの向上と効率的な運営に努めます。



⑤スマートウエルネスみしま推進事業…1,185万円

健幸マイレージ事業、健幸アンバサダー養成のほか、健幸づくりアプリの活用を促進し、若い世代や健康無関心層も巻き込む中で、楽しみながら自身の健康管理ができる仕組みづくりを進めます。

⑥母子保健事業…9,005万円

オンラインセミナーやSNSを活用したオンライン相談など、多様な相談支援体制を整備するため「産前・産後包括相談センター（仮称）」を新たに開設します。

⑦体育施設整備事業…6,430万円

市民温水プールの循環ポンプなどの修繕、錦田テニスコート照明およびフェンス改修などを行います。

⑧ヤングケアラー支援推進事業…464万円

ヤングケアラーの存在にいち早く気付くための体制を構築するとともに、家事などの負担軽減のため、訪問型子どもサポートを行います。

⑨発達支援相談事業…6,047万円

児童発達支援事業所「にこパル」において新たに預かり保育を実施するなど、子育て支援のさらなる充実に努めます。

⑩高齢者バス等利用助成事業…3,239万円

バス等利用助成券について、バスおよび鉄道での使用可能枚数を1回につき1枚から2枚へ、タクシーでは2枚から3枚へ増やすことでさらなる利便性の向上を図ります。